



撮影者：満田 年宏

感染症看護専門看護師の活動

人はさまざまな微生物と共存しています。そしていつの時代も人は感染症の危機にさらされています。かつて終息したかのように思われた結核も、いまだ多くの発生者が報告されています。病院の中では日々薬剤耐性菌が問題となり、耐性菌感染患者は治療に難渋しています。また、これらの感染症は特に集団発生することがあり、ひとたび集団発生が起こった場合、その発生場所のみならず地域・社会にも脅威を与えます。

感染症看護専門看護師はこのように身近な存在で時に脅威となる感染症を予防し、感染症に罹患し複雑な問題を抱える患者、その家族に対し、質の高い看護を提供します。

感染症看護専門看護師に聞いてみました！

Q 感染症看護専門看護師をめざしたのはなぜですか？

A 感染症予防や感染対策は看護で解決できることが多いと気づき、取り組む中でやりがいを感じ、感染症看護専門看護師を目指しました。

Q どのような活動をしていますか？

A ここ数年、高齢者介護施設のスタッフからの相談が増えてきており、地域で高齢者を支援するような活動がしたいと思いました。現在は感染症対策の地域相談窓口を開設し、地域に密着した活動をしています。

Q 今、特に力を注いでいるのはどのような活動でしょうか？

A 患者さんが納得して治療方針の選択ができるよう意思決定支援をすることに力を入れています。

患者個々に対応します

- ・臨床徴候、治療、感染防止に基づいた適切な患者ケア実践
- ・患者・家族、スタッフへの教育・啓発、調整

集団に対応します

- ・医療関連感染サーベイランス
- ・環境管理
- ・発生時対応

感染者
易感染・免疫不全者

患者
家族

感染症発症

私たちは
一人の患者（個）から地域（集団）まで
それぞれの対象のニーズに応じて
質の高いケアと適切な感染予防を提供します。

地域

地域と連携、感染対策を推進します

- ・医療施設間の連携
- ・地域における感染症・感染予防の教育や啓発活動
- ・輸入感染症に対する相談対応
- ・行政との連携

医療従事者 職員・学生

施設内に入出入りするすべての人々を感染から守ります

- ・職業感染対策
- ・施設の感染防止組織風土づくり

